

1999年式

ボルボV70

新車の味まで?

HOW MUCH?

テーマは
巧く!
安く!

フェラーリ・テストロッサ、ボルシェ996と企画してきたリフレッシュ企画の第3弾。ランボルギーニ・ディアブロに行く前に、ちょっと一服というか、現実的な値段のクルマを挟むのもいいんじゃないかということで、第4弾は超実用車のボルボ、一番人気のV70を取り上げている。消耗品関係のパーツを格安で交換することをテーマに、一体いくらかければV70は魅惑のかを検証する。

文●半谷範一 撮影●森口信之(右ページ)、益田和久(左ページ)

取材協力●スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp>

モーターフィールド TEL:0564-65-8533 <http://www.motor-field.com>

Digital Speed <http://www.digitalspeed.jp>

スーパーオートバックス名古屋ベイ店 TEL:052-693-0020 <http://www.sa-nagoya.co.jp/>

お金を
かけずに
V70の
消耗品を交換し
新車の味を
取り戻すぞ
計画

⑦



[ロムチューンで目指せオーバー300ps! ~最終章~]

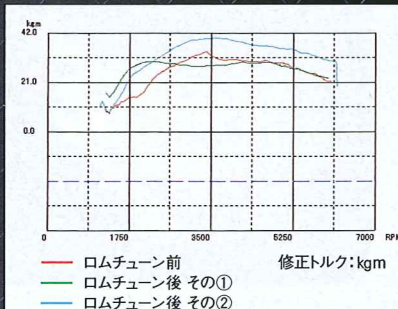
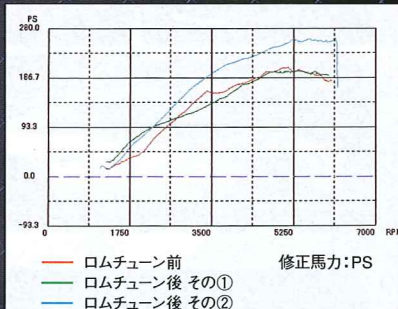
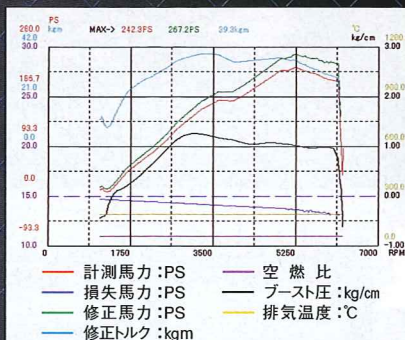
3度目の挑戦で 見事267.2ps達成だ!!

267.2ps達成時のデータ

今回はトラブルでブーストが0.45までしか上がらなかったが、最初の計測よりもパワーダウンしてしまう状況だったが、今回はこの表の通り1.2以上まで上がり、パワーもトルクも全域で最初の計測を上回った。結果が出るまで書かなかったが、デジタルスピードでのV70 T5用ECUチューンの価格は、インストール料、消費税込で15万7500円というもの。費用対効果は非常に高い。

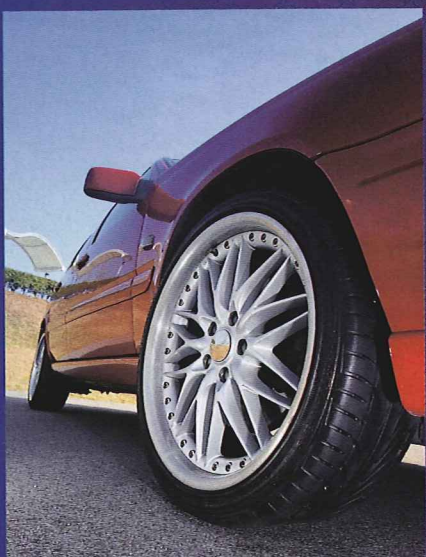
エンジン型式	乾球温度[°C]	湿球温度[°C]	大気圧[hPa]	修正係数
	19.0	16.0	1018.0	1.007

	計測馬力	修正馬力	修正トルク	空燃比	ブースト圧	排気温度
	PS	PS	kgm		kg/cm	°C
最小/最大値	242.3	267.2	39.3	11.0	1.27	190.7
エンジン回転 RPM	5239	5239	3247	1108	3066	1226
3000	146.3	160.0	38.1	11.0	1.25	190.4
3100	153.1	167.3	38.6	11.0	1.26	190.4
3200	160.1	174.6	39.1	11.0	1.26	190.4
3300	166.0	180.9	39.2	11.0	1.25	190.4
3400	170.7	186.1	39.1	11.0	1.23	190.4
3500	175.5	191.4	39.1	11.0	1.20	190.4
3600	179.9	196.2	38.9	11.0	1.18	190.4
3700	180.0	196.8	38.0	11.0	1.17	190.4
3800	179.8	197.1	37.1	11.0	1.15	190.4
3900	179.2	196.9	36.1	11.0	1.14	190.4
4000	183.0	201.2	36.0	11.0	1.11	190.4
4100	188.1	206.7	36.0	11.0	1.09	190.4
4200	193.9	212.9	36.2	11.0	1.07	190.4
4300	199.6	219.1	36.4	11.0	1.06	190.4
4400	205.4	225.3	36.6	11.0	1.05	190.4
4500	211.3	231.7	36.8	11.0	1.06	190.4
4600	217.2	238.1	37.0	11.0	1.07	190.4
4700	222.9	244.3	37.2	11.0	1.08	190.4
4800	229.0	250.7	37.3	11.0	1.08	190.4
4900	235.5	257.7	37.6	11.0	1.07	190.4
5000	236.4	259.0	37.0	11.0	1.05	190.4
5100	237.3	261.0	36.6	11.0	1.04	190.4
5200	240.9	265.8	36.6	11.0	1.03	190.4
5300	239.7	265.1	35.8	11.0	1.01	190.7
5400	236.2	262.7	34.8	11.0	0.99	190.4
5500	233.3	260.6	33.9	11.0	0.98	190.4
5600	231.1	259.3	33.1	11.0	0.98	190.4
5700	228.0	258.3	32.4	11.0	0.98	190.4
5800	223.7	254.4	31.4	11.0	0.98	190.7
5900	220.2	253.0	30.7	11.0	0.98	190.7
6000	218.1	251.6	30.0	11.0	0.98	190.4
6100	215.7	249.9	29.3	11.0	0.84	190.4



メイド・イン・インドネシアのアキレスATRスポーツ

4本セット送料込み3万円弱の 激安タイヤ・インプレッション



《《 スピードジャパン小澤さんの感想



乗り味はかなり硬い
静粛でもありません
でも意外に好きかも…

「どうせタイヤアップだからスポンサーの悪口は書けないでしょ」

996に履かせた台湾製タイヤのインプレに対するネットで見つけたコメントです。スポンサーなんてありません。全部自腹で買ってます!! そんなこと言われるなら書いてやろうじゃないですか、散々なインプレを。ということで探してきたのが、今回のインドネシア製最安値タイヤってわけです。期待通りに? まずは乗り心地悪いです。前に履いていたナンカンと同じ空気圧(2.4K)ですが、かなり硬い乗り味になりました。街乗りにはちょっとキツイです。全然静粛でもありません。レグノなんかと比べたら、そりゃお話になりません。でも、ナンカンNS-2よりは静かかも知れません。グリップは…分りません。このクルマでスキル音が出るほどのブレーキングもコーナリングもしたことはありませんから。でも、少なくとも一般道で通常の速度域からなら、雨の日でも何の不安もなくしっかり止まります。

最後に、次も買うかと言われれば、買いません。5000円高くてナンカンの乗り心地を選びます。でも、996だったら…。この硬派な感じ、意外に好きかもしれません。ん? 散々なインプレになってない?

《《 お馴染みチャ武の感想



コストパフォーマンス
考えたら最高のタイヤ
でも評価3割増し!?

インドネシアでタイヤを製造しているメーカーがあるなんて、今回初めて知った。しかもバカ安と聞けば期待する人は殆どいない。中流意識が強い日本人ならまず「大丈夫?」と思う。ちなみにボクもそのひとり。

早速インプレ開始。タイヤの“顔”であるパターンは昔どこかで見たことある感じだけど、ウェット性能は良さそう。指で押してコンパウンドを確認。意外に弾力があってミディアムといった感じ。実際に走らせてみると、ロードノイズは煩くもないし至って普通。違和感を感じる人はまずいないはず。決してハイグリップではないけれど、旋回性能や応答性、乗り心地など、どれをとっても悪い部分がない。

80km/hくらいからのブレーキングテストでも普通に止まるし、まさに普通のタイヤ。でも、これで1本7200円? 安いよね(笑)。コストパフォーマンスを考えたら最高のレベルじゃない?

テストした状態はほぼ新品だったんだけど、使い続けた状態の判断は難しい。それでも車両重量が重いボルボに装着して大丈夫ってことは、セダンやワゴンに履いても全く問題なし? まあ、悪い先入観しかなかったモノが「普通」だと、評価は3割増しだったりするんだよね(笑)。

メイド・イン・インドネシアの超激安タイヤ、アキレスATRスポーツをネットで購入。4本送料込み3万円弱の驚き価格。ドリフト族に人気のタイヤで、ゴム硬めののに減りが早いという噂も…。果たして真実は? オーナール小澤氏とレーサー・チャ武に嘘偽りのない正直な感想を聞いてみよう。

費用対効果はバツグンでしょ!
15万7500円のロムチューン

せっかくECUチューンにトライしたのに、メカニカル・トラブルとタイヤの不良が続いて、その成果を証明できなかったこのV70。今回は文字通り3度目の正直で、ロムチューンでどの程度の効果があったのか、シャシダイで実測してみることになりました。

正直な話、我々自身はシャシダイ計測での絶対値にはあまり興味はありません。この種の数字は、同じクルマでも計測する機械やテストする人間によってもかなり差があるからです。

しかし、もし同じ場所、同じ人に計測してもらうことができれば、前に比べて数値がどのように変化したかの参考にはなってくれるはず。そこで、今回も前回と同じスーパーオートバックス名古屋ベイ店にお願いして、なるべく前回計測と同じような条件で計測してもらうことにしました。

その結果が右の表ですが、このグラフの通り、267・2psというかなり立派な結果を残すことに成功しました。前回のデータはもうろんでますが、ノーマルのカタログ値である240psと比べても、実に27・2psものパワーアップということになります。残念ながらデジタルスピードのカタログ値である278psにこそ届きませんでした。が、9年落ちの中古車としては、期待以上の結果といえるでしょう。

このECUチューンの効果は体感的にも激変といえるもので、速度域によつては500Eよりも速く感じるこのこと。耐久性に関しては今後のテストの結果を待たなくてはなりません。が、少なくとも明確な効果のあるチューニングであることは証明されました。